

創徳中学校通信



監督の思い



息子が小学生の頃、毎週楽しみにしていた「メジャー」というアニメ番組と一緒に見ていた時のことです。

野球に情熱を傾ける一人の小学生（本田吾郎）を主人公にして、彼の成長とともに所属するチームを情熱で突き動かし、チーム一丸となって目標に向かって前進していくというストーリーです。その日は『監督の思い』というタイトルでした。吾郎の所属する「三船ドルフィンズ」は、全国大会でも活躍する名門チームでしたが、メンバーがそろわず活動を停止していました。そんな中、吾郎が呼びかけてメンバーを集め、やっと活動できる状態に持ち込んだのです。

かつての名門監督も吾郎に促され、しぶしぶユニホームに袖を通すといった具合で、積極的ではありませんでした。

夏休み、監督は吾郎の熱意に押され合宿を企画することになりましたが、当然乗り気ではありません。練習中、野球を始めたばかりの子ども達は、ゴロを処理するのままたならず、監督が強い口調で指示を出すものならふてくされてしまう始末で言うのをためらってしまうのです。

監督は自室で「勉強との両立に悩み、やめていく子」「厳しい練習が嫌になり他の競技に移っていく子」「ケガをした子の親が危ないからやめさせる」など、過去のことを振り返りながら、「吾郎の全国大会で優勝するという夢に促されて再びドルフィンズを率いることになったが、今のチームでは無理だ。厳しい練習をすればきっと子ども達はやめていく。チーム存続を優先にした練習をしていこう」と自問自答するのです。

監督がこのようなことを考えている時、夜、外で3人の子ども達が助け合って自主練習をしている姿を目にして、「目の前にこんなにも前向きでひたむきな子ども達がいる。時代や子どものせいにして夢をあきらめていたのは私自身だ。」と反省するのです。

次の日、監督はかつてドルフィンズの入団テストとして行っていたマラソンを実施します。「これは体力を高めるためではない、精神力を試すものだ。苦しくなったら歩いてもいい、日の暮れるまでに戻ってきなさい。どうしてもダメだと思ったらバスが走っているからそれに乗って帰ってきなさい。しかしその者は二度とグラウンドに顔を見せてはならん。」と告げて送り出すのです。監督は走り去っていく子ども達の背中を見つめながら「できるなら全員戻ってきてくれ」と心の中でつぶやくのでした。

この内容は、かつての自分自身を思い起こさせるものであり、私は思わずテレビに見入ってしまいました。苦しい練習に耐える辛抱強さ、敗戦が濃厚な試合をひっくり返した

子ども達の精神力を目の当たりにして、多くのことに責任転嫁し、あきらめていた自分を反省したものでした。

中体連新人大会が10月1日から始まります。1、2年生が主役となる大会です。対戦相手、組み合わせも決まり練習にも一層熱が入ってくるでしょう。そして、顧問の先生からは厳しい言葉が投げかけられるかもしれません。しかし、その中にはドルフィンズ監督の「できるなら全員戻ってきてくれ」と同じ、言葉で伝えられない多くの思いが込められているはずです。

鈴亀地区中学校新人大会などの日程

ソフトボール部

○日時：10月8日(土) 10:20～
○会場：関B&G海洋多目的グラウンド
○1回戦対戦校：神戸中学校



野球部

○日時：10月8日(土)
○会場：石垣池公園野球場
○1回戦対戦校：天栄中学校



ソフトテニス部

○日時：団体 10月22日(土)
個人 10月22日(土) 23日(日)
○会場：鈴鹿市営コート
○2回戦対戦校：関中 対 白鳥中の勝者



女子バスケットボール部

○日時：10月16日(日)
11:40～
○会場：創徳中学校
○1回戦対戦校：鼓ヶ浦中学校



バレーボール部

○日時：10月8日(土) 9日(日)
○会場：西部体育館
○1回戦対戦校：関中学校



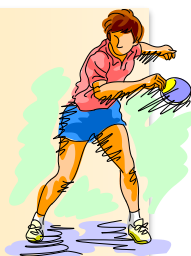
男子バスケットボール部

○日時：10月16日(日)
○会場：神戸中学校
○1回戦対戦校：亀山中部中学校



卓球部

○日時：団体 10月15日(土)
個人 10月16日(日)
○会場：AGF体育館
○リーグ対戦校：大木中、神戸中
白鳥中、鼓ヶ浦中



サッカー部

○日時：10月8日(土)
○会場：神戸中学校
○リーグ対戦校：白子中 12:00～
神戸中 15:00～



陸上競技部

○日時：10月1日(土)
○会場：AGF鈴鹿陸上競技場



合唱部

「まきたこどもふれあい広場」への参加
○日時：10月23日(日) 10:00～
○会場：牧田地区市民センター
○幼児児童とその保護者との交流と合唱を披露



吹奏楽部 9月4日(日)、三重県文化会館で行われた「中部日本吹奏楽コンクール中学校任意編成の部」で奨励賞を受賞しました。